令和４年度
児童発達支援・放課後等デイサービス　評価表のまとめ

１．自己評価表の集計結果について

＜保護者からのご意見＞

・支援員に会いたいと言うなど、利用するのをとても楽しみにしている。
・活動の様子がとても楽しそうで感謝している。
・子どもの特性を生かして支援してもらっているので、その分野が伸びている。
・年齢の小さい子に対して、やさしく接することができていて、大きな成長となっている。
・困った時に、対応のし方等などについて助言してもらえるが、プログラムはない。
・本人がしたいことを主にしているので、活動プログラムが固定化している。
・室内の様子がよくわからない。(感染症の予防対策として、保護者への受け渡しを戸外で行っているため)
・小人数での療育でも集団行動が身に着くのか不安。
・保護者同士の交流があまりない。

２．昨年以降改善された点

・保護者の方から信頼が得れており、支援に関しておおむね満足してもらえている。
・子どものつぶやきを拾ってホームページにのせるなど、少しずつではあるが、ホームページを活用した発信を試みている。
・送迎時の保護者や家族との会話を大切にし、利用者本人の状態と保護者の様子を見ながら、必要に応じて事業所内相談に誘うなど、支援員と児発管、管理者との連携ができていて、良い支援につながっている。
・日々の計画や反省について、それぞれがまとめて話をすることで、比較的短時間で行えるようになっている。

３．今後の改善点及び改善目標

・避難訓練について、参加した利用者の保護者には訓練の様子など、知らせることができているが、なかなか全体への周知が難しいので引き続き工夫する。
・小人数での療育や本人の意思を尊重した活動の選択など、療育方法や意図について保護者に十分理解されていない部分があるので、子どもの育ちと療育についてのフローチャートを作成し、配布するなどの工夫する。
・ホームページや会報等での、広報活動に積極的に取り組む。
・保護者同士の交流、計画的な保護者支援などについて、検討する。